

史上最大規模 333 億 2,000 万円

「ギイジの視点」で新年度予算をピックアップしてみました☆

令和7年予算特別委員会は、3月5日に議長を除く17名で設置され、委員長に深澤輝彦委員、副委員長に高草木弘子委員を選出し、審査を行いました。

予算の立案過程は透明なものか、それに基づく事業は市民の思いに添っているのかなど、さまざまな視点で質疑をし、白熱した議論が交わされました。一般会計予算は333億2,000万円を可決しました。



深澤 輝彦 予算特別委員長

●地域おこし協力隊事業 【地域創生課】

問 地域おこし協力隊活動費補助金はどのように活用されるのか。

答 ①居住の賃料、旅費、備品、研修の受講料に活用することができる活動費補助金②起業する場合や事業を承継する場合に活用することができる起業・事業承継補助金③隊員が退任後に定住するための費用に活用することができる定住支援補助金の3つの補助金があり、合計2,725万円予算計上している。



●消防団運営事業 【防災危機管理課】

問 災害等出動報酬の内訳については。

答 4時間未満の火災などの出動に対し、3,000円を年間14回として30名分。4時間以上8時間未満の火災などの出動に対し、8,000円を年間6回として30名分。秋季点検、出初式などの式典参加に対し、3,000円を年間2回ずつ、339名分。市及び桐生市消防本部が実施する訓練に対し、3,000円を年間3回、81名分予算計上している。



●スクールバス運行事業 【学校教育課】

問 スクールバスの新設による見込み人数と発着場所は。

答 大間々北小学校のロマンド地区からのバスの運行は電気自動車を使用し、対象児童は2名、発着場所は児童の自宅の近くから学校までを予定している。あずま小中学校への笠懸町及び大間々町からのスクールバスの送迎についてはワゴン車を使用し、8名の希望がある。発着場所については、現在運行経路の検討をしているところだが、できるだけ自宅の近くから乗車できるルートを考えている。



●低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業 【税務課】

問 予算の詳細は。

答 国の低所得者支援や経済対策に基づき定額減税を補足する給付事業である。令和6年度に実施された定額減税が支給しきれなかった方に対し、調整給付として給付金の給付を実施してきたが、確定申告などにより支給額に不足が生じた方に対して令和7年度予算にて給付を行うもの。現在申告期間中であり対象者の抽出が困難であるため、仮に支給対象者を1,000人と見込み予算計上した。



どう使う？

前年度比 +22.2%

●大間々老人憩いの家施設管理運営事業

【介護高齢課】

問 大間々老人憩いの家の利用者に対し、新たな温泉施設への移動手段について令和7年度はどのように準備をしているか。

答 みどり市温泉施設整備基本計画において、大間々老人憩いの家の利用者に対する交通アクセス面での配慮が必要という内容を明記しているため、高齢者の移動手段確保に向けて対応を検討していきたい。



●感染症対策事業

【健康管理課】

問 コロナワクチン予防接種後に後遺症が出た場合の対応については。

答 後遺症が予防接種によるものであると厚生労働大臣が認定した場合には救済を受けることができる。市民から健康被害の申請があった際には、国への上申にあたり医師などから構成されるみどり市予防接種健康被害調査委員会を開催し、医学的な見地から疾病の状況や診療内容の調査等を行う。



●観光負担金事業

【観光課】

問 モンベルによるジャパンエコトラックの事業効果は。

答 作成する冊子は国内の約130店舗のモンベルストアで配布されるほか、公式ウェブサイトやアプリなどでルート情報や周辺観光スポット、地元の飲食店の情報を発信していきたい。ジャパンエコトラックは国内40か所の地域が登録されており、群馬県ではみどり市が初めての登録であり、北関東では日光に次ぐ2件目の登録である。都内から比較的近い距離感を活かし、首都圏のアウトドアやエコツーリズムに関心のある層をメインターゲットにしながら誘客を図っていきたい。



●空き家利活用促進事業

【建築住宅課】

問 事業の概要は。

答 平成29年度に作成した空き家データシステムの保守管理委託料として約70万円、空き家バンクに登録されている空き家物件の効果的な情報提供を行うための360度カメラ撮影委託料として93万1,700円を計上している。



●森林整備担い手対策補助事業

【農林課】

問 事業の概要は。

答 林業従事者の育成を確保し、共済掛金や年金掛金を支払う雇用主を支援する補助事業である。現在は5団体が対象となっている。

